

2025 年 3 月 31 日
三菱電機株式会社

NEWS RELEASE

制御機器・駆動機器・配電制御機器の価格改定

三菱電機株式会社は、制御機器、駆動機器および配電制御機器の製品群における一部機種の価格を2025年7月1日に改定します。

近年、銀・銅などの素材価格が高騰していることに加え、半導体などの電子部品の部材価格、外注加工費も上昇基調が継続しており、今後もさらなる製造コストの上昇が想定されます。

当社はこれまで、生産合理化などのコスト削減に継続的に努めてまいりましたが、現行価格の維持が困難な状況となったため、今回、制御機器、駆動機器および配電制御機器の一部機種について価格改定を実施します。当社は今後も、お客様の満足度向上に向け、より一層のサービス向上と製品の安定供給に努めてまいります。

対象製品の概要

製品群	対象製品	価格改定率	価格改定時期
制御機器	シーケンサ (iQ-R/iQ-F シリーズ除く 一部本体、一部ユニット)	+10～20%	2025 年 7 月 1 日 受注分から
	表示器 (一部本体、一部オプション)	+20%	
駆動機器	AC サーボ (J5 シリーズ除く一部本体、 一部オプション)	+10%	
	インバーター (一部本体、一部オプション)	+10%	
	ギヤードモーター	+20%	
	電磁クラッチ	+40%	
	テンションコントローラー	+20%	
配電制御機器	電磁開閉器(一部本体)	+15～20%	
	計器用変成器	+20～25%	
	無停電電源装置 (一部オプション除く)	+10～30%	

三菱電機グループについて

私たち三菱電機グループは、たゆまぬ技術革新と限りない創造力により、活力とゆとりある社会の実現に貢献します。社会・環境を豊かにしながら事業を発展させる「トレード・オン」の活動を加速させ、サステナビリティを実現します。また、デジタル基盤「Serendie®」を活用し、お客様から得られたデータをデジタル空間に集約・分析するとともに、グループ内が強くつながり知恵を出し合うことで、新たな価値を生み出し社会課題の解決に貢献する「循環型 デジタル・エンジニアリング」を推進しています。1921 年の創業以来、100 年を超える歴史を有し、社会システム、電力システム、防衛・宇宙システム、FA システム、自動車機器、ビルシステム、空調・家電、情報システム・サービス、半導体・デバイスといった事業を展開しています。世界に 200 以上のグループ会社と約 15 万人の従業員を擁し、2023 年度の連結売上高は 5 兆 2,579 億円でした。詳細は、www.MitsubishiElectric.co.jp をご覧ください。